

韓国大法院最終判決、23日に確定!

金大中 死刑判決絶対阻止

1.23 全学集会に結集せよ

全学、学友諸君、金大中氏に対する韓国大法院判決が1月23日午前11時に行われることが明らかになった。

全斗煥軍事独裁政権は、このかんの世界中で湧きおこった死刑阻止の闘いを前にして、12月判決即時処刑を断念した。しかし、全斗煥は2月大統領選・3月国会開設という強行スケジュールのもと、何が何でも体制を「安定」させんとしている。24日に大統領選の公元を行う全政権は、その前に金大中氏についての「決着」をつけんとしているのだ。

死刑判決 執行を断乎阻止せよ

金大中氏に対するこの攻撃は、あの昨年5月の光州武装蜂起を頂点とした韓国民衆の偉大な闘いに対する報復弾圧である。79.10.20以降、民主化維新残党一掃の闘いを、「民主主義と民族統一のための国民連合」のもとで担ってきた金大中氏に対し、金斗煥は5.17クーデタをもって根こそぎ弾圧し、続いて光州蜂起に対し血の弾圧をもって臨んだのだ。韓国民衆のうち続く決起に対し、自らの体制の崩壊を恐れる全斗煥は、次々と報復弾圧をかけてきており、体制の危機を金大中氏抹殺で乗り切らんとしているが、現在、韓国経済は破綻しており、朱二の光州・オ三の釜山・馬山が訪れることは必至である。我々は、不屈に闘う韓国民主化闘争と断乎連帯し、12月を上回る大衆闘争を組んでやがねばならない。

日帝の侵略と侵略にむけた国内再編粉碎

日帝はこのかん、金大中氏に対する死刑攻撃に積極

的に加担し、政財界の両度の訪韓・田借穀の凍結など犯罪的な役割を演じている。韓国新植民地主義支配を日帝の生命線として、全斗煥に力を入れ続ける日帝を許すわけにはいかない。このかん国内でうち続く反動攻勢（重重大団別、戦う部分への弾圧・イデオロギ一攻撃など、勿論大衆再編もその一環としてある）はまさに金大中氏処刑攻撃という超反動攻撃と一体となって進められているのだ。

我々は自らの解放をもかけて、日帝の死刑加担粉碎・執行阻止を闘い続けなければならない。

1.23全学集会へも (王午 日正17)

1月23日判決当日、全学自治会同学会は日正17前にて全学集会を予定している。判決は11時と言われど11時が、死刑判決・執行阻止の闘いを断乎とくち組んでやこうではないか。12月の京大の死刑阻止闘争の高場は、まさに全国最先頭というに恥ぢないものであった。1日の運動はこの上回るものさなければならぬ。1.23全学集会に全ての諸君が結集(て更なる高揚をかちとり、とりわけ教養生諸君は1.29日代大にとりくみ、日代大勝利ロードを、何が何でも死刑を阻止する闘いに決意されることを訴える。

共に闘はん!

